

# EAST TIMES

東日本保証広報誌 2024 春号



特集

「あたためる」

# 特集「あらためる」

「あらためる」をキーワードに、社会資本整備に関わるさまざまな取り組みについて考えていく

## 12 イメージをあらためる

Photo Gallery  
土木のイメージを「あらためる」  
かわいい土木



村山下貯水池第一取水塔(1925年竣工 東京都東大和市)

## 04 長時間労働をあらためる

時間外労働の上限規制きっかけに、  
労働環境の改善に努め、長時間労働を「あらためる」

巻頭インタビュー

一般社団法人 全国建設業協会 労働部長 古田 宏昌 氏



## 14 初夏の風物詩 団扇のこぼれ話



デジタルクリエイションラボ(写真提供:共立女子大学)

## 08 視点をあらためる

建築界に新しい風を送り込め!  
大学教育の視点を「あらためる」

共立女子大学 建築・デザイン学部 学部長 建築・デザイン学科 教授 堀 啓二 氏  
建築・デザイン学部 建築・デザイン学科 教授 田中 裕子 氏

## 16 連載「けんせつのでんせつ」シリーズ78 四神相応

建設産業図書館事務局 江口 知秀

## 18 トピックス 新宿支店から 自然や四季を改めて実感 世界の名所「高尾山」



鴨川デルタ(京都市左京区 2008年撮影)



高尾山薬王院(東京都八王子市  
写真提供:高尾山マガジン <https://mttakaomagazine.com/>)

## 10 名作建築をあらためる

地域の話 よりみち この街 Vol. 28

名作建築、歴史的建築を「あらため」  
さらにその魅力を高めた作品 鈴木 伸子



東京日仏学院(東京都新宿区 撮影協力:同院)



表紙の写真  
村山下貯水池第一取水塔  
(東京都東大和市)

日本で一番美しいと評される取水塔。貯水池から必要な流量を放流する役割を果たしている。壁面に高さの異なる取水口がらせん状に開けられていて、貯水量の増減によって湖の水深が変化しても取水できる仕組みになっている。

▶P12-13 Photo Gallery  
「イメージをあらためる」をご覧ください。



長時間労働をあらためる

特集 あらためる

時間外労働の上限規制きっかけに、労働環境の改善に努め、長時間労働を「あらためる」

一般社団法人 全国建設業協会 労働部長

# 古田 宏昌氏

巻頭インタビュー

長時間労働の是正に向けた取組が、いよいよ待ったなしを迎えている。令和6年(2024)4月、改正労働基準法の時間外労働の上限規制が建設業界にも適用されるようになった。労働環境の改善に向け、知っておくべき点は何なのか。「週休2日制の導入・時間外労働年360時間以内」を呼びかける一般社団法人 全国建設業協会 労働部長の古田 宏昌氏に聞いた。

**時間外労働の削減への目標設定「週休2日制の導入と年360時間以内」**

——時間外労働をどのように削減していくか、建設企業各社の知恵が求められる中、一般社団法人 全国建設業協会(以下、全建)では上限規制の適用を前に2021年度から、「2+360(ツー・プラス・サンロクマル)運動」を展開しています。この運動はどのようなものですか。

**古田** 究極の目標は、時間外労働の削減です。「2+360運動」の「2」はその達成に向けた手法の一つとも言える週休2日制の導入促進を指しています。「360」は、時間外労働の上限を原則として年360時間以内にする取組を意味しています。周知用ポスターやリーフレットを作成し、都道府県建設業協会や会員企業※1に配付してきました。

週休2日制の導入は、時間外労働の削減に有効な取組です。若年層は就職先を選択する際、勤務時間や休みを重視する傾向があるため、人材の確保という観点からも重要です。また、ICT(情報通信技術)化やDX(デジタルトランス

フォーメーション)化に取り組み、業務の効率化を同時に進めることも重要です。休日を増やすだけでは、平日の長時間労働に拍車がかかるだけになりかねないからです。また、技能労働者の場合は、給与制度の問題があります。一般的な日給月給制では、1日を計算単位としていきますから、休日が増えればそれに伴い手取りが減ってしまいます。休める半面、収入は下がってしまうのです。

そこで、全建では会員企業に対し、月給制への移行を提唱しています。そうしないと、若手の技能労働者を確保できない時代です。ハローワークに提出する求人票には労働条件を書き入れることが必要となりますから、月給制なのか、週休2日制なのか、求職者にはすぐに分かります。労働環境の改善が欠かせません。

——「2+360運動」を展開する中で、会員企業に対するサポートにも力を入れていますね。

**『Q&A100』を作成**

**古田** はい。まず令和4年(2022)1月に「労働時間」の



『全建の改正労働基準法 Q&A 100』¥1,100  
全建のホームページから購入申込み手続きができる



「2+360(ツー・プラス・サンロクマル)運動」リーフレット  
労働時間の基本事項を説明

基本事項を解説したリーフレットを作成配付しました。さらに改正労働基準法の内容を理解するのに助ける資料として『全建の改正労働基準法 Q&A100』を作

※1 会員企業:都道府県建設業協会の会員企業のことを指す

成し、令和5年(2023)8月に刊行しました。

会員企業は専門の労務担当者を置いていない地域建設企業がほとんどですから、改正労働基準法の施行と言っても、詳しいことは分からない。国からは一般的な説明資料が公表されていますが、建設業の直面する課題には即していません。そこで、改正法に関する建設業特有の疑問事項の解決に向けた指針としてこの『Q&A100』を作成しました。

——改正労働基準法のQ&Aについても、労働条件について日本国憲法ではどのように規定しているかというごく基本的なことから説き起こしていますね。

**古田** そうです。労働基準法制定の根拠は、日本国憲法にあるためです。そして今回の改正法について言えば、労働時間を正しく把握することが前提になるため、労働時間とはどのような時間を指すのかを理解することが必要となります。

誤りやすいのは、例えば「朝礼やラジオ体操、着替え・作業準備、いわゆる手間時間」などの時間です。これらのように使用者の指示によつて就業を命じられた業務に必要な準備行為は、いずれも労働時間に該当するのです。<sup>※2</sup>

——建設業界から「この点をもっと詳しく教えてほしい」と要請されるような改正労働基準法の規定は何かありますか。

**古田** 話題によく上がるのは、労働基準法第33条の取扱いです。ここでは、「災害その他避けることのできない事由によつて、臨時の必要がある場合」には、使用者は行政官庁の許可を受け、その必要の限度において法定の労働時間を超えて、あるいは法定の休日に労働させることができるものと定められています。<sup>※3</sup>

法定労働時間や法定休日日数を超えて労働させる場合には労働使間で書面による協定(36(サブロク)協定)をし、時間外労働の上限等を定めます。「2+3.60運動」の「360」はまさに、改正労働基準法で新しく定められた時間外労働の上限、年360時間を指します。ところが法第33条は、36協定で定めた上限等とは別に時間外・

休日労働を求めることを可能にする規定です。

この規定はあらゆる業種を対象にしたもので、法改正前から規定されていたものです。「災害その他避けることのできない事由」とは、建設業界では災害復旧工事や除雪作業などです。人命や公益を保護するために行う除雪作業など臨時の必要がある場合が該当します。

**求められる人材戦略の視点  
環境改善は改正法遵守から**

——要は人命・公益の保護の観点から緊急性のある場合ですね。改正労働基準法には法第33条の規定とは別に、土木、建築その他工作物の建設等の事業について災害時における復旧・復興の事業での時間外労働の扱いについて定めた規定がありますね。

**古田** 法附則第139条のことで、36協定で定める時間外労働は、月45時間以内かつ年360時間以内(「限度時間」という)のほか、①時間外労働と休日労働の合計が月100時間未満、②時間外労働と休日労働の合計は2か月、6か月の平均がすべて月80時間以

内——という条件が課されています。法附則第139条では、人命や公益に関わるるとまでは言えなくとも社会的な要請が強い災害時等における復旧および復興の事業について、この2つの条件を当面の間適用しないと定めています。

つまり、それ以外の条件、月45時間かつ年360時間という上限規制は適用されます。法附則第139条の規定はあくまで、36協定で定める範囲内で時間外・休日労働を求めることができるというものです。そこが、先ほど紹介した法第33条の規定とは異なります。

——災害時等を特別な場合と位置付ける一方、平時には原則どおりの労働条件が求められます。時間外労働の上限規制の適用には、そうした環境改善を促す効果が期待されます。

**古田** そうですね。上限規制の適用をきっかけに、労働法令全体の遵守がいつそう求められます。それを通じて、労働環境の改善を図っていくことが重要です。そこには、人材戦略上の狙いも込めたいですね。

——人材戦略ですか。  
**古田** ええ、そうです。担い手不足の中、建設業においては人口減少

社会における労働市場全体をみたうえで、の長期的視点に立った人材戦略を検討することが必要と考えます。例えば高校の卒業生にしても、工業高校だけでなく、普通高校や専修学校、職業訓練校にも目を向けるべきです。工業高校の卒業生全員が建設業界に入職しても足りないですから。一方、ほかの業界も採用活動に力を入れていまして、人材の確保が益々厳しくなるといふ意識も持つべきです。これまで以上に労働環境の良し悪しが問われます。

●労働基準法 法第33条、法附則第139条と法第36条の違いについて

区分	法第33条 (36協定締結不要)	法第36条(36協定を締結)	
		法附則第139条の特例を適用	法附則第139条の特例の適用なし
目的	人命・公益の保護のため	社会的要請が強いため	
対象	災害その他避けることのできない事由によつて、臨時の必要がある場合(建設事業に限らない)	災害時における復旧及び復興の事業 (建設事業に限る)	災害時における復旧及び復興以外の工事 (建設事業に限らない)
手続	事前の許可又は事後の届出 ・事業単位で申請/届出を行う ・許可申請書/届に、時間延長・休日労働を必要とする事由、期間・延長時間、労働者数を記載する	36協定(一般又は特別条項)を届出 ・建設事業として36協定の中で、「災害時の復旧・復興の事業に従事する場合」について協定する	36協定(一般又は特別条項)を届出
効果	<b>36協定で定める限度と別に</b> 時間外・休日労働を行わせることができる	<b>36協定で定める範囲内で</b> 時間外・休日労働を行わせることができる	<b>36協定で定める範囲内で</b> 時間外・休日労働を行わせることができる
上限規制	適用なし	災害の復旧・復興の事業については、  【一般】 ①月45時間、年360時間以内  【特別条項付】 ①年720時間以内 ③月45時間超は6か月の限度	災害の復旧・復興の事業についての適用除外はなく、全ての規制が適用される  【一般】 ①月45時間、年360時間以内 ②時間外労働+休日労働について ・月100時間未満 ・2か月～6か月の複数月平均80時間以内  【特別条項付】 ①年720時間以内 ②時間外労働+休日労働について ・月100時間未満 ・2か月～6か月の複数月平均80時間以内 ③月45時間超は6か月の限度
割増賃金	支払必要	支払必要	支払必要

(出典:『全建の改正労働基準法 Q&A 100』)



古田 宏昌(ふるた こうしょう)

【現職】  
一般社団法人 全国建設業協会 労働部長  
【略歴】  
1984年秋田大学鉱山学部(現理工学部)卒業。1987年旧労働省採用、2020年都道府県労働局長を最後に厚生労働省を定年退職。同年7月より現職。

※2 これらの業務は、労働基準法が改正されて労働時間とされるようになったのではなく、改正前から労働時間とされていたことに留意が必要

※3 労働基準法 第33条も改正前からあった規定



ルポ 建築界に新しい風を送り込め！  
大学教育の視点を「あらためる」

(写真提供:共立女子大学)

建築界への道が広がるとうとして  
いる。送り出す人材は建築工学を  
学んだ技術者だけではないとほか  
りに、大学教育では多様な視点の  
下、文系の受験生まで取り込みつ  
つある。東京の女子大でその先駆  
けとなったのは共立女子大学。令  
和5年(2023)、家政学部の学  
科から独立した建築・デザイン学  
部を開設した。学部化の狙い、こ  
の1年の振り返り取材した。

**共**立女子大学 建築・デザイ  
ン学部で掲げる視点とは、  
「美術」である。「美術」の視点で  
「空間」や「モノ」を学ぶことを、  
学部としての特徴と位置付ける。  
建築教育で「美術」の視点を掲  
げる大学としてよく知られるのは、  
東京藝術大学。その卒業生・修了  
生である堀啓二氏が、学部長・建  
築・デザイン学科教授を務める。  
出発点は、昭和43年(1968)

に開設された家政学部 生活美術  
学科である。この学科が平成19年  
(2007)に建築・デザイン学科  
に改組され、令和5年4月には家  
政学部を離れ、独立した学部とし  
て開設されたのである。

逆風にさらされる女子大  
社会ニーズにらみ改革を

**独**立の狙いはどこにあるのか、  
堀氏はこう答える。  
「『空間』や『モノ』は居心地の良  
さや美しさといった美術的な視点  
が大事です。家政学部で掲げる生  
活者の視点も重要ですが、再出発  
に向け、そこから美術的な視点に  
改めたのです」

再出発の背景には、定員割れと  
いう女子大をおしなべて取り巻  
く厳しい現実がある。女子大側は  
それに対し、共学化や経営系・工  
学系学部の新設など人気回復を  
図る動きを見せる。  
厳しい現実とは、共立女子大学に  
も押し寄せる。「生き残りに向け、  
社会ニーズに対応した改革が欠か  
せません」。建築・デザインを学部  
として独立させたもう一つの理由  
を、堀氏はこう語る。  
ただ、「美術的な視点」を第一に

掲げる点からも分かるように、理  
系女子(リケジョ)狙いの工学系学  
部の開設とは一線を画す。入学試  
験での必須科目は、国語と英語の  
み。理系科目を選択せずに受験す  
ることも可能だ。

では、どのような人材を社会に  
送り出そうとしているのか。  
「『建築』『空間』『モノ』『情報』  
の4つがわかる人材です」(堀氏)。  
大学教育を通じて磨くのは、「空  
間」や「モノ」をつくる技術という  
よりは、そこに「美」を見いだす感  
性や感覚である。

堀氏はこう説明する。「『空間』  
や『モノ』が好きでも、それらをつ  
くり出すのは苦手という人も実  
際にはいます。  
そういう人には  
『設計』ではな  
く、『企画』とい  
う職能もあり  
ます」。

美術的な視  
点を掲げて再  
出発するにあ  
たつて、カリキュ  
ラムの見直し  
に手を付けた。  
一言で言うな  
ら、建築教育と



デジタルクリエーションラボ まるで本物のような部材を用いた構造物をパソコンの中で構築できるVRシステムを導入。2Dの設計図面や3Dのモデルを画面で見ただけではわからなかった特徴が体感できる  
(写真提供:共立女子大学)

デザイン教育の融合強化である。  
建築・デザイン学部の学生は1  
年次から「建築コース」「デザイ  
ンコース」の2つに分かれる。ただし  
カリキュラムには共通領域が設定  
され、1年次には「建築・デザイン  
概論」と「デザインドローイング」  
を、2年次には「プレゼンテーショ  
ンテクニック」を学び、3年次は「建  
築・デザイン総合演習」に励む。

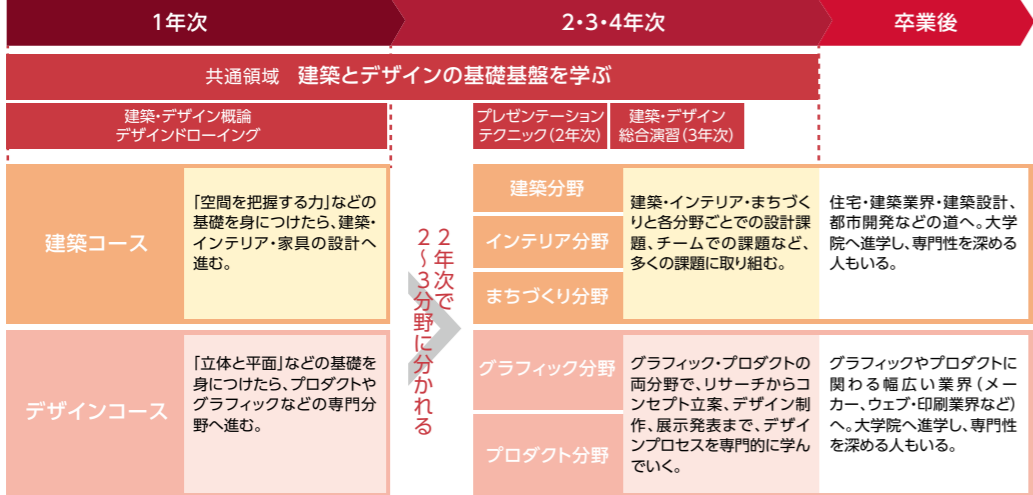
文系科目だけで受験可能  
倍率は7〜8倍に伸びる

**融**合強化の意図を堀氏はこう  
説明する。「『建築』と『デザ  
イン』は、学びの方向性もスキルも  
異なります。しかし、『空間』を知  
らずに『モノ』は生み出せない。一  
方で、『モノ』があつて初めて、『空  
間』が生きる。互いに切つても切り  
離せない関係にあるだけに、美術  
系として再出発するにあつて共  
通領域を設けることを強く意識  
しました」。

学部を置く神田一ツ橋キャンパ  
ス本館では施設を拡充し、3Dプ  
リンターやレーザーカッターなどの  
機器を備えた「デジタルクリエー  
ションラボ」や学生用ものづくりス  
ペースでもある「クリエーションスタ

ジオ」を新設した。  
デジタルクリエーションラボに備  
え付けられた機器を用いれば、表  
現の自由度は自ずと高まる。「学  
生は思い描いたデザインを実際に  
表現できます。それが、学びに対  
するモチベーションを高めてくれま  
す」。建築・デザイン  
学部 建築・デザイ  
ン学科 教授の田中  
裕子氏は指摘する。  
文系科目で受験  
が可能である点や  
充実した設備など  
により、2023年  
度の入学試験では  
学内一の人気を誇  
る。「倍率は、かつて  
は3〜4倍でした  
が、本年度は7〜  
8倍に達しました」  
(堀氏)。  
学部開設から1  
年。建築教育とデ  
ザイン教育の融合  
強化は、一定の成  
果をもたらしそう  
だという。田中氏  
が例に挙げるのは、  
「建築・デザイン総  
合演習」。必修科

●共立女子大学 建築・デザイン学部 学びの流れ



(出典:共立女子大学ウェブサイト)



たなか ゆうこ  
田中 裕子  
共立女子大学  
建築・デザイン学部  
建築・デザイン学科 教授



ほり けいじ  
堀 啓二  
共立女子大学  
建築・デザイン学部 学部長  
建築・デザイン学科 教授

刺激を受け合い、活性化します。  
建築とデザイン、2つのコースの垣  
根が取り払われるのは、楽しいで  
すね」(田中氏)  
目下の課題は、文系の受験生  
をどう取り込むか、という点だ。  
「『建築コース』と『デザインコー  
ス』に加え、『企画コース』のような  
ものを新しく設置できれば、受験  
生にとって大きな魅力を打ち出せ  
るはず」。堀氏はそう構想し  
ている。

# 名作建築、歴史的建築を「あらため」 さらにその魅力を高めた作品

建築史に名を残す名作に、後世の建築家が改築・増築という形で手を加え、改めた作品というものがある。

それは、すでに評価が定まっていたり、歴史的価値が認められている建物の魅力をより高めることを前提とするなかなか困難な仕事だが、今回はその見事な成功例を訪ねてみようと思う。

## 様式建築をレプリカ保存し 再生した磯崎新作品

令和4年(2022)末に91歳で亡くなった世界的建築家・磯崎新設計の「お茶の水スクエアA館」(昭和62年(1987)竣工、現日本大学理工学部図書館)は、都内で見ることが出来る数少ない磯崎

作品で、もともとその場所にあった主婦の友社の社屋を復元しながら、その背後に新たな高層棟を建てたという意欲的なプロジェクトだ。

主婦の友社社屋を設計したのはアメリカ人宣教師として来日し、日本国内に数多くの建築作品を残したウィリアム・メレル・ウオーリズ。明大通りに面して左右対称に建っていた社屋は、1棟が大正13年(1924)築のウオーリズ設計の建物だが、もう1棟は昭和10年(1935)に大林組がウオーリズの設計デザインに倣って増築したものだった。

磯崎は主婦の友社の意向に沿い、この2棟の建物の外壁だけをそっくり保存することを考えた。しかし装飾部分などが長年の風化によ



お茶の水スクエアA館(現・日本大学理工学部図書館 東京都千代田区)



磯崎が設計した高層棟



ヴォーリズの図面を元に複製された外壁

(撮影協力:日本大学)

る傷みのために解体工事中に崩壊。そこで、ヴォーリズの図面を元に複製されたのが現在の建物の外壁である。

その背後には磯崎の代表作「つくばセンタービル」(昭和58年(1983)竣工)を思わせるデザインの高層棟がそびえている。「つくばセンタービル」は西洋の建築様式を引用し、随所にちりばめたポストモダン建築であることで建築界を中心に論争を呼んだ作品だが、この「お茶の水スクエアA館」も、その延長線上にあるもの。

日本におけるポストモダン建築の隆盛期は、ちょうどバブル経済の膨張と崩壊期に重なる。バブル崩壊後の平成14年(2002)、この建物は主婦の友社より神田駿河台地区にもキャンパスのある日本大学に譲渡され、現在は日本大学理工学部の図書館として使用されている。

## 坂倉準三作品と美しく協調した 藤本壮介による新校舎

皇居外堀沿い、「東京日仏学院」(旧アンステイチュ・フランセ東京)は、飯田橋や神楽坂にほど近い高級住宅街に建つ瀟洒な建物だ。フランス政府の文化機関として昭和



東京日仏学院(坂倉準三の作品 東京都新宿区)



東京日仏学院(藤本壮介による新校舎)



坂倉準三の設計により最初に竣工した建物。キノコのような形が印象的な柱

(撮影協力:東京日仏学院)

26年(1951)に坂倉準三の設計で建てられ、その後増築や改築を繰り返してきた。

戦後モダニズムの巨匠として知られる坂倉だが、近年は新宿の小田急百貨店、渋谷の東急文化会館、東急東横店の建物などの作品が続々と解体され、この「東京日仏学院」は、皮肉なことに、数少なくなりつつある坂倉建築として、より存在意義が高まってきているものだと言える。

東京帝国大学で美学を学んだ坂倉は、建築を志して卒業後フランスに渡り、パリのル・コルビュジエの

アトリエに入所。計7人いたという日本人の弟子の中でも最も長くアトリエに在籍し、滞在中は現地での見聞や交友関係を広めた。坂倉が急遽設計を担当することになった昭和12年(1937)のパリ万博・日本館は高く評価され、国際的にも認められる。

「東京日仏学院」では平成30年(2018)に新校舎の拡張計画を開始し、その設計者に採択されたのは、日本国内での活躍もめざましく、ヨーロッパでの受賞歴もある建築家・藤本壮介だった。中庭を取り囲む新校舎は

「Village as Institute」と題された一見して集合住宅のようにも見える3階建て。既存の坂倉建築とも調和し、校舎を取り囲む樹々に囲まれて、都心とは思えない穏やかな場が創り出されている。バルコニー沿いの外光の入る明るい場所には教室が点在し、学習の場としても申し分ない。

坂倉の作品である昭和26年築の建物は今も美しく保たれ、バルコニーを支えるシャンピニオン(キノコの柱)、二重らせん階段、木製サッシのカーテンウォールなど、50年代のモダン建築としての見どころも多い。新校舎内にはレストランも開店するというから楽しみだ。

(文・鈴木伸子)

「すずきのぶ」東京生まれ。東京女子大学卒業後、雑誌「東京人」編集部勤務。1997年より副編集長。2010年退社後、都市、建築、鉄道、まち歩きなどをテーマに執筆活動を行う。



# 土木のイメージを「あらためる」 かわいい土木

3	2	
4		
9	6	5
	8	7
		1

1.猿橋(江戸時代初期竣工 山梨県大月市 国名勝指定) 2.村山下貯水池第一取水塔(1925年竣工 東京都東大和市) 3.膳棚水路橋は、漢字の「水」に見える橋脚が桁を支える水路橋。黒川発電所へ発電用水を導水している。(1921年竣工 栃木県那須町) 4.日本一長い手掘りトンネルの中山隧道(写真右下の小さい方)。豪雪地帯の住人たちが冬の峠越えをせず町へ出られるようにするためにツルハシー一つで掘り抜いた。(昭和初期竣工 新潟県長岡市) 5.生駒ケーブルは、日本初のケーブルカー。車両は6種類あり、この車両の愛称はミケ。(1918年開業 奈良県生駒市) 6.現存する大型遊具の中で日本最古の生駒山上遊園地飛行塔。戦時中、生駒山上に海軍基地が設置され、飛行塔が軍の防空監視所として使われた。(1929年開園 奈良県生駒市) 7.京成電鉄本線の旧博物館動物園駅は、2004年に廃止された駅舎。ピラミッド風の屋根、アカンサスの葉模様の軒飾り、トスカナ式の円柱を持つ小さくも荘厳な建物は御料地の品格にふさわしい。(1933年開業 東京都台東区) 8.亀の甲羅のような形がかわいい向野橋。アメリカ生まれのこの橋は、もともとは保津川に架かる鉄道橋だったが1922年に脱線事故で破損。その後名古屋へ送られ跨線橋に。明治・大正・昭和・平成と4時代を生き抜き、現在はさまざまな電車を眺められるスポットとして地元の人びとや鉄道ファンに愛されている。(1899年竣工推定 愛知県名古屋市長 名古屋市長認定地域建造物資産) 9.八戸港に出入りする船の目印として建設された鯨角灯台。三角の窓枠や風向風速計といったディテールもかわいい。(1938年竣工 青森県八戸市 日本の灯台50選) (写真提供:3~9 三上美絵氏)

東京都選定歴史的建造物: 2, 7 土木学会選定土木遺産: 2, 3, 4, 5, 6, 8



巨大ダム、長大橋、海底トンネルなど、スケールの大きさは土木インフラの魅力の一つである。しかし、土木の魅力は重厚長大だけではない。小規模でデザインがかわいいもの、地域の人々の暮らしを健気に支えているインフラも存在する。今号では、そのような土木のイメージを「あらためる」かわいい土木を紹介する。

まずは、山梨県大月市にある猿橋。スクラムを組むように2列4段に重ねられた「桔木」(ハネノキとも書く)が特徴で、こうした形式の橋は「桔橋」(ハネノキ橋)と呼ばれる。桔木と桔木の間には挟んだ枕梁に雨よけの小さな屋根根がついているのがかわいい。

続いては、東京都東大和市の村山下貯水池第一取水塔。中世ヨーロッパの古城のようなネオルネッサンス様式の美しい塔だ。村山貯水池の建設にあわせて大正14年(1925)に竣工し、現在も東京の水がめとして役割を果たしている。奥に見えるのは第二取水塔で、水需要の増加を受け昭和48年(1973)に同じデザインで作られたものだ。水抜き作業が行われている時期の撮影となり、普段は見ることができない取水口も眺めることができる。

皆さんも是非、道路や橋梁、上下水道、堤防など土木構造物のかわいい一面を見つけてみてください。



## Photo Gallery

●関連図書のご案内  
・「かわいい土木 見つけ旅 ― 重厚長大だけじゃない、健気で愛おしいボクの魅力探訪」  
三上美絵著 技術評論社 2023年  
※弊社建設産業図書館で所蔵しています

初夏の風物詩

団扇のぼれ話



弊社が毎年お客さまにお届けしている団扇。今年の絵柄は、葛飾北斎「富嶽三十六景」の「御厩川岸より両国橋夕陽見」と「甲州三坂水面」です。

御厩川岸より両国橋夕陽見  
(現東京都墨田区／台東区／中央区)

御厩川岸は現在の墨田区横網1丁目辺りに位置し、隅田川対岸の台東区蔵前2丁目辺りを結ぶ船着き場です。明治7年(1874)に木造の厩橋が架けられるまで、渡し船が運航していました。現在の厩橋は、関東大震災の復興事業として昭和4年(1929)に竣工した美しい3連アーチ橋です。グリーンを基調色とし、橋全体に馬を連想させるレリーフなどが施されています。

本作品は、墨田区本所1丁目辺りから両国橋と富士山を望んでいます。時刻は日が暮れ始めてきた夕方。手前に大きく描かれた船には、長い竿を持った鳥刺し(鳥を捕獲する職業)や物売り、按摩など、10人以上の人々が窮屈そうに乗り合わせています。画面の奥に見えるのは、両国橋と藍色の富士山。輪郭線を用いずに刷ることに、徐々に夕闇に包まれていくような、次第に物の色が失われていく様子が表されています。

両国橋の欄干にも注目してみましょう。ギザギザの形をしたシルエットになっていることが分かります。

本作品は、西洋の空気遠近法のように手前をくつきり、奥をぼんやりと表すことで、奥行きを感じさせる空間を表現しています。さらに、空と川の面積を1対1に配分することで、空間の広がりを感じさせ、鳥刺しの持つ竿が画面を引き締める役割を果たしているといわれています。

現在の両国橋は、昭和7年(1932)に竣工した桁橋です。厩橋と同じく関東大震災の復興事業として架けられました。「隅田川花火大会」は、かつては「両国の川開き」という名称で、昭和36年(1961)まで両国橋上流で花火が打ち上げられていました。両国橋上の歩道の柵には花火がデザインされています。

甲州三坂水面  
(現山梨県富士河口湖町／笛吹市)

描かれた季節は夏、山梨県の河口湖に映し出される逆さ富士を描いた作品です。題名の「甲州三坂」とは、現在の山梨県富士河口湖町と笛吹市にまたがる御坂峠をさして指します。本作品は、その峠から見た景色と説明されることがあります。ただし実際の峠からは河口湖の逆さ富士は見えないことや、富士山の稜線の角度、周辺の山や湖岸の形などから、この峠を下った河口湖畔から富士山を眺めていると思われる。そして、中央の集落は勝山村、右端の足和田山の麓の集落は長浜村が描かれています。

この浮世絵を見て、少し不思議に思われている方がいるかもしれませんが、そう、この作品のなかには、北斎らしい大胆な嘘、すなわち現実では起こり得ない現象が描かれているのです。

一つ目は、湖面に映る富士山の影です。本来ならば鏡像、すなわち線対称で映らなくてはなりません。が、本作品では、山頂の位置が左にずれており、点対称のような位置関係になっています。水面に物体がどのように映るか、北斎が知らなかったとは考えにくく、構図の安定を求めたため、あえてそのように富士山を配置していると考えられます。

二つ目は、夏の富士山を描きながら、水面に映っている富士山は山頂に雪を頂く姿となつてのことです。夏と冬、全く異なる二つの季節を一枚の画面のなかで同時に表現しようとするのは、まさしく北

す。これは、両国橋に詰めかけた大勢の人たち。なんとも細かい表現です。川の上には幾艘もの船が浮かんでいることから、これから花火でも打ち上げられるのでしょうか。にぎやかな夏の季節が描かれています。



現在の両国橋(東京都中央区—墨田区間)

しかし渡し船に乗る人々は、両国橋の喧騒にはあまり関心がないようです。皆、一日の仕事を終えてすっかりくたびれた様子で、あまり会話を交わさず家路を急ごうとしているように見えます。



花火のデザインが施された両国橋の歩道の柵



河口湖畔からの富士山の眺め

葛飾北斎「富嶽三十六景」  
江戸後期の浮世絵師 葛飾北斎の代表的作品。「三十六景」というタイトルだが、裏富士と呼ばれる10図の浮世絵が追加された全46図の作品。「富嶽」とは富士山のこと、46図にはさまざまな場所、季節、色彩、構図で必ず富士山が描かれている。令和2年(2020)に刷新された日本のパスポートの査証ページにもあしらわれている。





# 四神相応

**はじめに**  
内外の観光客でにぎわう京都。延暦13年(794)に桓武天皇によつて長岡京から遷都されて以来、1000年以上にわたり日本の首都として栄えてきました。遷都にあつたのは、「風水学でいう四神相応にかなう地が選ばれた」という話は有名で、皆さんも聞いたことがあるかと思ひます。



四神相応概念図(著者画)

巨椋池が比定されていますが、一方で白虎は木島大路、朱雀は下鳥羽付近の遊水池などという意見もあり、四神とされる地形が特定されていないのです。そのような次第で、今回は平安京と江戸について、本当に四神相応の地を選んで建設されたのか考えてみたいと思ひます。

**四神とは**  
そもそも四神とは、古代中国の天文学に基づき、天空の四方に見える主な28の星を東西南北の4つにわけ、各方向の7つの星の形がそれぞれ四神と似ているので、

そこから四方を守護するという考え方が生じたようです。日本において四神が確認できる最初期のものは、有名な高松塚古墳やキトラ古墳の壁画や、奈良薬師寺の本尊薬師如来坐像の四神文であり、7世紀から8世紀初頭には伝来していたことがわかっています。ただし、この段階では四神が四方を守護するという考え方で伝わっていたのか、明らかではありません。

## 日本では

さて、日本で四神相応の断片は、天長5年(828)の日付がある空海の「綜芸種智院式」に「兎白虎大道。離朱雀小澤」とあり、同じく空海の漢詩文集「性霊集」に「東西龍臥」「南北虎踞」として見ることが出来ます。これが最初期と考えられますが、まだ完全に四神が出そろっていません。つまり、これらはすべて平安京が遷都された後のものなので、遷都当時の日本ではまだこの考えは確立していなかったと言えるのです。平安京について最初に四神が山・川・

道・池に当てはめられたのは、遷都から520年を経た正和3年(1314)の奥書を持つ「聖徳太子平氏伝雑勘文」であり、「左青竜は東より水南に流るなり。前朱雀は南に池溝あるなり。右白虎は西に大道あるなり。後ろ玄武は山岳あるなり。之をいう、四神具足の地」と記しています。

**平安京の詔**  
ここで、桓武天皇が平安京の地を選んだ理由を、天皇自らが発せられた詔に見てみたいと思ひます。まずは「四方国の

百姓参り出で来ることもこれ便」。全国の百姓が納税に来るのに便利であり、さらに「山河襟帯」。京都三山が襟のように連なり、鴨川など河川が帯のように取り囲む自然の城であるからで、どこにも「四神相応の地」などと書かれていないのです。

## 後付けの理屈

これまで見てきたように、平安京の遷都については、その詔にも四神相応は見られず、また日本で平安京と結びつけられたのは、遷都から年月が経つてからだということがわかりました。これらの結果から、平安京は四神相応の地だから選ばれたと明言することはできないといえます。

もちろん、文献・史料に見えずとも、「現在の京都がまさに四神相応にかなっているのではないか。それが確たる証拠だ」という意見もあるかもしれません(事実あります)。でも、それは長きにわたつて繁栄した都市が、「たまたまそのような地形にあてはめることができた」という後付けの理屈に過ぎないと思ひます。

## 江戸について

さて、これまで平安京について見てまいりましたが、いよいよ江戸に移りたいと思ひます。江戸幕府に引き続き、現在においても東京が首都であり続けるのは、「家康が四神相応の地を選んだから」という説が多数あることは前述しました。しかし、これは明らかにおかしいと思ひます。なぜなら、江戸を選んだのは徳川

家康ではなく、豊臣秀吉だからです。

## 江戸入りの理由

家康は小田原征伐のあと、天正18年(1590)に江戸入りをしています。そして、この江戸入りは家康の意思ではなく、秀吉の命令でした。例えば、万治3年(1660)に石川正西が書いた「聞見集」には、「小田原落城之後、秀吉公会津迄御下有て、家康様御在城は江戸可然らんと御めき(目利)きのよし」とあります。つまり、秀吉から「家康殿の御城は江戸にするがよい」と勧められたのです。勧められたと言えれば聞かざるが、これは明らかに命令です。この「聞見集」を書いた石川正西は、譜代大名松平康重の家老で、江戸入り当時は17歳でしたので、かなり信憑性が高い記述だと考えています。

また、石川は続けて、当時すでに確立した都市だった小田原や鎌倉について「両所はふな入りもなく江戸にはおとりたる所なり、江戸は年々に万事さかへまし」と述べています。

当時、城と城下町の建設には大きな変化が生じていました。織田信長にしても、豊臣秀吉にしても、中世以前の山城から領国経営を重視した商業や交通に適した場所に移っていたのです。

しかし、豊臣家をおびやかす存在である家康に、そのような適地を勧めるのは秀吉はずいぶん親切なように思えますが、当時の江戸は発展の可能性があつても、入江の埋め立てや、河川の付け替えなど、大幅なインフラ整備をする必要がありました。江戸は将来性が見込めるメリットを持ちながら、それには多大

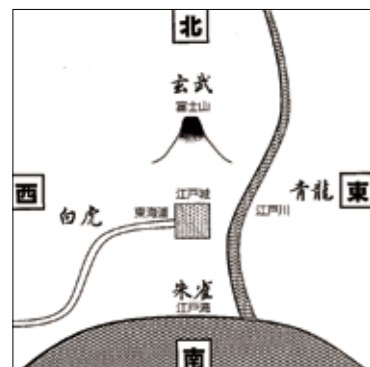
な労費を使わざるを得ないデメリットがあつたのです。

## 富士山は江戸の北にあり

この史実一つを取つてみても、江戸が四神相応の地だから「家康が選んだ」可能性はないと思ひますが、加えて江戸は地形的にもそれに該当しない土地なのです。そして、それは皮肉なことに、四神相応にかなつているという説を唱える諸氏が証明しています。

例えば、大同工業大学工学部教授であり、宮元建築研究所代表取締役だった故宮元健次氏の『江戸の陰陽師 天海のランドスケープデザイン』を見てみましょう。左の「江戸と四神相応の概念図」は同書から転載したのですが、一目見ておかしな図であることがわかります。江戸城の北に富士山が描かれているのです。

そして本文中には、「(家康のプレーンであった天海は)江戸城の地を、東に平川、西に東海道、南に江戸湾、北に富士山があるという四神相応にあてはまる場所として選地した」とあり、誤植ではないことがわかります。念のため記しておきますが、富士山は江戸(東京)の北にはありません。西です。



江戸と四神相応の概念図 (出典:『江戸の陰陽師 天海のランドスケープデザイン』宮元健次 人文書院 2001年)

## 回転させる

このほか、軸を回転させて適地とみなすのが流行つていたようです。建築史家で名古屋工業大学名誉教授だった故・内藤昌氏は「朱雀―玄武の南北軸を一二度あまり東北東へふつて、ここに城の正面〓大手をおいた」として、玄武については「麹町台地から富士山をのぞんで玄武の神に」とあり、宮元氏にしても内藤氏にしてもなぜか富士山を玄武に見立てたかつたようです。

また内藤氏の説に対して、愛知学院大学総合政策学部准教授の村田尚生氏は、内藤氏が言うように112度ずらすと朱雀の方向には江戸湾はなく、白虎の方向に東海道はないと反論し、72度ずらすとまっくいくと述べています。ほかにも、いや90度だという説もあり、そもそも勝手に軸をクルクル回して東西南北の方向は重要ではないのかと疑問に思ひます。

## おわりに

若かりし頃、京都を旅したおり、鴨川を眺めながら、ここには龍が住んで京都を守護していると想像し、とても清々しい安らかな気持ちになりました。しかし、「はじめに」で述べたように、比定地があいまいなことから、すぐに疑いを持ち始めてしまいました。四神相応説を唱える方々は、本来は論理的かつ合理的な考えを持ちながらも、神秘を信じる気持ちを持てきれず、さまざまな可能性を苦慮して四神相応の都という口曼を守ろうとしていたのかもしれない。

(文:江口知秀)



鴨川デルタ 高野川と賀茂川と合流して鴨川となる 鴨川は京都の東を守護する青龍とされる (京都市左京区 2008年撮影)



# 新宿支店から 自然や四季を改めて実感 世界の名所「高尾山」



山頂展望台から見える富士山。秋や冬など空気が澄んでいる季節はよく見える

国内外から多くの人が訪れる高尾山。新宿から西へ約40km、東京都八王子市にある標高599mのこの山は、東京近郊ながらも美しい自然にあふれ、低山ながらも山中には観光名所やグルメスポットなどがぎっしり詰まっている、日本屈指の観光地です。

高尾山の歴史を簡単に振り返ります。奈良薬師寺の僧侶である行基が高尾山薬王院を開山したのが、奈良時代（744年）です。薬王院はその後、荒廃していきませんが、約600年後の南北朝時代（1375年）に京都山城醍醐山の高僧である俊源大徳がその復興に取り組みます。戦国時代に入ると、関東一円を支配していた北条氏が高尾山の自然を保護する政策を進めました。

豊かな自然は明治時代以降も守られてきましたが、昭和時代に入ると、戦時中は造船のため、戦後は家屋再建のため、大量の木々が伐採され、右側が「女坂」の分岐が出現します。男坂は煩惱の数と同じ108段の急な階段道、女坂はなだらかなスロープ状の坂道となっており、坂を登り終えた所にある「ごまどころ権現茶屋」（ごま団子やソフトクリームが有名な休憩所）の前で、男坂と女坂が合流します。

さらに歩を進め、東京都天然記念物に指定されている杉並木を抜けると、高尾山のパワースポットとも言える薬王院に到着。巨大な山門をくぐれば、高尾山のシンボルの天狗（像）が迎えてくれます。ここから境内の本堂、本社、奥之院、と続く階段をひたすら登り、境内を抜け、アップダウンする道を進むと、ゴ

れ、その自然は傷つけられてしまっています。しかし、昭和25年（1950）に東京都立高尾陣場自然公園の指定を、昭和42年（1967）に明治の森高尾国定公園の指定を受けたことで、高尾山の自然は再び守られています。

一方、ケーブルカーやリフトの導入、新宿と高尾山の間を結ぶ京王線の全線開通により、高尾山は自然を身近に感じられる憩いの場として発展してきました。平成19年（2007）にミシユランガイドで三ツ星の観光地として評価されてからは、登山者が年間300万人まで増え、世界一の登山者数を誇る山となっています。

そんな高尾山を登るにはいくつかのコースがあります。今回は最も利用者が多い定番の「1号路表参道コース」（全長3.8km、所要時間100分（徒歩））を紹介します。まずは、ケーブルカー乗り場の清

ルは目の前。最後の坂道を登り切ると、山頂に到着です。頂上に着くと最初に目に飛び込んて来るのは、高尾山の山頂標識です。この標識周りは記念撮影のスポットとなっており、多くの人で賑わいます。また、もう一つのスポットである山頂展望台からは、房総半島、江の島、富士山などを一望でき、自然の雄大さや美しさを満喫することができます。

今回は「1号路表参道コース」を紹介しましたが、高尾山には他の登山コースをはじめ、見どころやグルメスポットなどが、まだまだたくさんあります。

●高尾山の登山コース



滝駅から出発し、徒歩またはケーブルカーで高尾山駅を目指します。駅に着くと、隣接するかすみ台展望台から都心方面の街並みを見渡すことができます。

ここからさらに、約90頭の猿がいる「さる園」や根がタコの足のよう

登る季節を変えれば、楽しみ方がさらに広がること、間違いなしです。皆さんも四季折々の自然、歴史、パワーを感じながら散策してみてください。

んか。きつと新しい「高尾山」を発見できると思います。



高尾山のパワースポット、高尾山薬王院（東京都八王子市）



平成27年（2015）に新しくなった山頂標識。記念撮影で人気

（図・写真提供：高尾山マガジン <https://mttakaomagazine.com/>）

**新宿支店**  
〒163-0634  
東京都新宿区西新宿1丁目25番1号 新宿センタービル34F  
TEL. (03) 3340-2451 FAX. (0120) 027-158

## 編集後記

2024春号をお届けします。テーマは「あらためる」です。建設業界では担い手確保に向け、新3K（給与・休日・希望）に「かっこいい」を加えた新4Kを掲げた働き方改革に取り組んでいます。建設業のかっこよさ、どんどん発信していきましょう。

それと同時に発信していきたいのが、Photo Galleryで紹介した土木の「かわいい」という一面です。また、建築教育で「美術」の視点を掲げる共立女子大学 建築・デザイン学部の取材を通して見えてきたのは、「美しい」という一面です。人材確保が厳しさを増す今、「かっこいい」「かわいい」「美しい」といったさまざまな角度から建設業界の魅力を捉え、発信していくことで世間一般の方々の建設業界に対するイメージを改めるきっかけをつくりたいですね。

### お知らせ

弊社ではこの度、現場代理人の育成に取り組む方を対象にした小冊子「現場代理人の育成ガイドブック【知識と実践】」を刊行しました。



現場代理人に必要とされる能力や育成ステップなどについて、具体例を通してわかりやすく解説しています。

弊社営業部・支店の窓口にて無料でお配りしています。ぜひご利用ください。

### 特集一覧

2013年	2014年	2015年	2016年
冬：あつまる	冬：よみがえる	冬：へらす	冬：くみあわす
春：うごかす	春：のばす	春：もてなす	春：ささえる
夏：そだてる	夏：はかる	夏：さかせる	夏：つなぐ
秋：おさめる	秋：たくわえる	秋：こわす	秋：たのしむ
2017年	2018年	2019年	2020年
冬：しる	冬：つかう	冬：あたたまる	冬：とりくむ
春：やすむ	春：かえる	春：かんがえる	春：つなぐ2
夏：いかす	夏：ふせぐ	夏：めざす	夏：たかめる
秋：あゆむ	秋：つたえる	秋：みせる	秋：みちびく
2021年	2022年	2023年	2024年
冬：ひきつける	冬：かさねる	冬：はたす	冬：かたる
春：つたえる2	春：むきあう	春：つくる	
夏：ふかめる	夏：みなおす	夏：きずく	
秋：ととのえる	秋：えがく	秋：めぐる	

## EAST TIMES

### 禁転載

東日本建設業保証株式会社  
<https://www.ejcs.co.jp>

事業内容：公共工事の前払金保証、中間前払金保証、契約保証、契約保証予約

公表資料：公共工事の動向、建設業景況調査、建設業の財務統計指標

公開施設：建設産業図書館

※本誌の掲載文のうち、意見を述べた部分については、執筆者の個人的見解であることをお断りします。  
※誌面に関するご意見・ご要望、送付先変更等につきましては弊社ホームページ「お問い合わせ」フォームより送信願います。



建設産業と、ともに歩みつづける

